

道徳の目標	学習すること	
<p>・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭，学校，その他社会における具体的な生活の中に生かし，豊かな心を持ち，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し，個性豊かな文化の創造を図るとともに，公共の精神を尊び，民主的な社会及び国家の発展に努め，他国を尊重し，国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため，その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。</p>	前期	<p>あつしの計画ひょう（節度ある生活態度） きまりじゃないか（規則の尊重） ぬれた本（正直誠実・明朗） あいさつをすると（礼儀） 二つの声（勇気） ケヤキのやさしさ（自然愛・動植物愛護） 公園ボランティア（勤労・社会への奉仕） ヌチヌグスージ（生命尊重） ドミノのように（思いやり・親切） われた温度計（善悪の判断・勇気・正直） ハルおばあちゃんのかつどんや（尊敬感謝） だれにも言えない（節度ある生活態度） ホタルの引っこし（自然愛・動植物愛護） ゆうすけの朝（節度ある生活態度） 健ちゃんをたすける（生命の尊重） ぼくたち，手つだいます！（思いやり・親切） くうちゃんの絵（愛校心）</p>
内容		後期
<p>・自分自身に関すること ・他の人とのかかわりに関すること ・自然や崇高なものとのかかわりに関すること ・集団や社会とのかかわりに関すること</p>		